

## 期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 4月16日  
 宮崎地方裁判所民事部  
 裁判所書記官 石 本 正 常

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

### 記

入札期間	令和 8年 4月30日から 令和 8年 5月 8日まで
開札期日 場 所	令和 8年 5月14日 午前 9時30分 宮崎地方裁判所売却場
売却決定 期日 場 所	令和 8年 5月28日 午前 9時50分 宮崎地方裁判所民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 8年 4月16日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- 3 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字栗原  
 地 番 3 5 1 7 番 5  
 地 目 宅地  
 地 積 5 8 . 7 2 平方メートル
- 4 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字松原  
 地 番 4 0 7 0 番 2  
 地 目 宅地  
 地 積 2 6 6 . 4 9 平方メートル
- 5 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字松原 4 0 7 0 番地 2  
 家屋 番号 4 0 7 0 番 2 の 1  
 種 類 居宅  
 構 造 木造瓦葺 2 階建  
 床 面 積 1 階 1 1 6 . 7 7 平方メートル  
 2 階 4 9 . 2 2 平方メートル  
 (附属建物)  
 符 号 1  
 種 類 車庫  
 構 造 コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建  
 床 面 積 2 7 . 9 0 平方メートル  
 符 号 2  
 種 類 物置

## 物 件 目 録

構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建

床 面 積 6.24平方メートル

## 物 件 明 細 書

令和 8年 3月12日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 澤津橋 秀 幸

---

---

1 不動産の表示

【物件番号3～5】

別紙物件目録記載のとおり

---

---

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

---

---

3 買受人が負担することとなる他人の権利

なし

---

---

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号5】

本件所有者が占有している。

---

---

5 その他買受けの参考となる事項

なし

### 《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありません。また、記載されている事実や判断も要点のみの簡素なものですので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ

- ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
  - 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。また、BIT（不動産競売物件情報サイト）の「お知らせ」ページからダウンロードが可能です。

物 件 目 録

- 3 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字栗原  
 地 番 3517番5  
 地 目 宅地  
 地 積 58.72平方メートル
- 4 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字松原  
 地 番 4070番2  
 地 目 宅地  
 地 積 266.49平方メートル
- 5 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字松原 4070番地2  
 家屋 番号 4070番2の1  
 種 類 居宅  
 構 造 木造瓦葺2階建  
 床 面 積 1階 116.77平方メートル  
 2階 49.22平方メートル
- (附属建物)
- 符 号 1  
 種 類 車庫  
 構 造 コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建  
 床 面 積 27.90平方メートル  
 符 号 2  
 種 類 物置

## 物 件 目 録

構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建  
床 面 積 6.24平方メートル

令和7年(ケ)第88号

令和8年1月22日受理

令和8年2月19日提出

その2(物件番号3~5)

# 現況調査報告書

宮崎地方裁判所

執行官 長 友善彦 (印)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 3 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字栗原  
地 番 3 5 1 7 番 5  
地 目 宅地  
地 積 5 8 . 7 2 平方メートル
- 4 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字栗原  
地 番 4 0 7 0 番 2  
地 目 宅地  
地 積 2 6 6 . 4 9 平方メートル
- 5 所 在 北諸県郡三股町大字樺山字松原4 0 7 0 番地2  
家屋番号 4 0 7 0 番 2 の 1  
種 類 居宅  
構 造 木造瓦葺2階建  
床面積 1階 1 1 6 . 7 7 平方メートル  
2階 4 9 . 2 2 平方メートル
- (附属建物)
- 符 号 1  
種 類 車庫  
構 造 コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建  
床面積 2 7 . 9 0 平方メートル
- 符 号 2  
種 類 物置  
構 造 コンクリートブロック造陸屋根平家建  
床面積 6 . 2 4 平方メートル

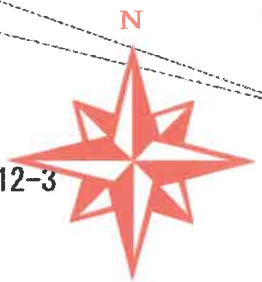
不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	住居表示未実施
<b>土 地</b>	物件3, 4
現況地目	■宅地(物件3, 4) □公衆用道路(物件) □ (物件)
形 状	■公図のとおり □地積測量図のとおり □建物図面(各階平面図)のとおり □現況(概略)図のとおり ■土地建物位置関係図のとおり □
占有者及び占有状況	■相続財産清算人A □その他の者 上記の者が法律上の権限に基づき、管理・占有している □「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物(目的外建物)	■ない □ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)
その他の事項	
<b>建 物</b>	物件5
種類、構造及び床面積の概略	■公簿上の記載とほぼ同一である □公簿上の記載と次の点異なる(□主たる建物 □附属建物) □種類: □構造: □床面積: 現況概測㎡
物件目録にない附属建物	■ない □ある { 種類: 構造: 床面積: 現況概測㎡
占有者及び占有状況	■相続財産清算人A □その他の者 上記の者が法律上の権限に基づき、管理・占有(空き家)している □「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地(目的外土地)	■ない □ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)
その他の事項	
執行官保管の仮処分	■ない □ある { 地方裁判所 支部 平成 年( )第 号 保管開始日 平成 0 年 0 月 0 日
土地建物の位置関係	■土地建物位置関係図のとおり □

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 三股町役場都市整備課担当者</li> <li>■ 相続財産清算人Aの担当事務員</li> <li>■ 近隣者</li> </ul>	<p>1 目的土地物件3及び4の北東面が接している道は、三股町道です。</p> <p>1 目的建物物件5は空き家です。同建物内の家財道具及び衣類等は相続財産です。同建物の鍵は所有していません。</p> <p>1 目的建物物件5には、数匹の野良猫が住みついています。</p>
執行官の意見	
<p>1 目的土地物件3及び同4は、一体となって、目的建物物件5の敷地として利用されている。</p> <p>2 上記一体となった土地の筆界は不明であるが、周囲の境界は、接道、周囲のブロック済み、境界プレート及び利用状況等により概ね確認できる。</p> <p>3 目的建物物件5は、内外に経年及びごみ等による汚損及び劣化が見られるほか、次の不具合が確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 全体の床にたわみや軋みを感じられる。</li> <li>② 階段の壁の浮及び2階押し入れの天井に破損箇所がある(写真⑩, ⑬)。</li> <li>③ 建物内部に獣臭及び異臭を感じられた。</li> <li>④ 附属建物符号2の出入口のドア枠が歪み、ドアの開閉がかなり困難である(写真⑮)。</li> </ul> <p>4 本件受命物件の占有関係は、関係人の陳述及び現況から2枚目記載のとおり認めた。 なお、目的建物物件5内には、相続財産である家財道具等が残置してある。</p>	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり





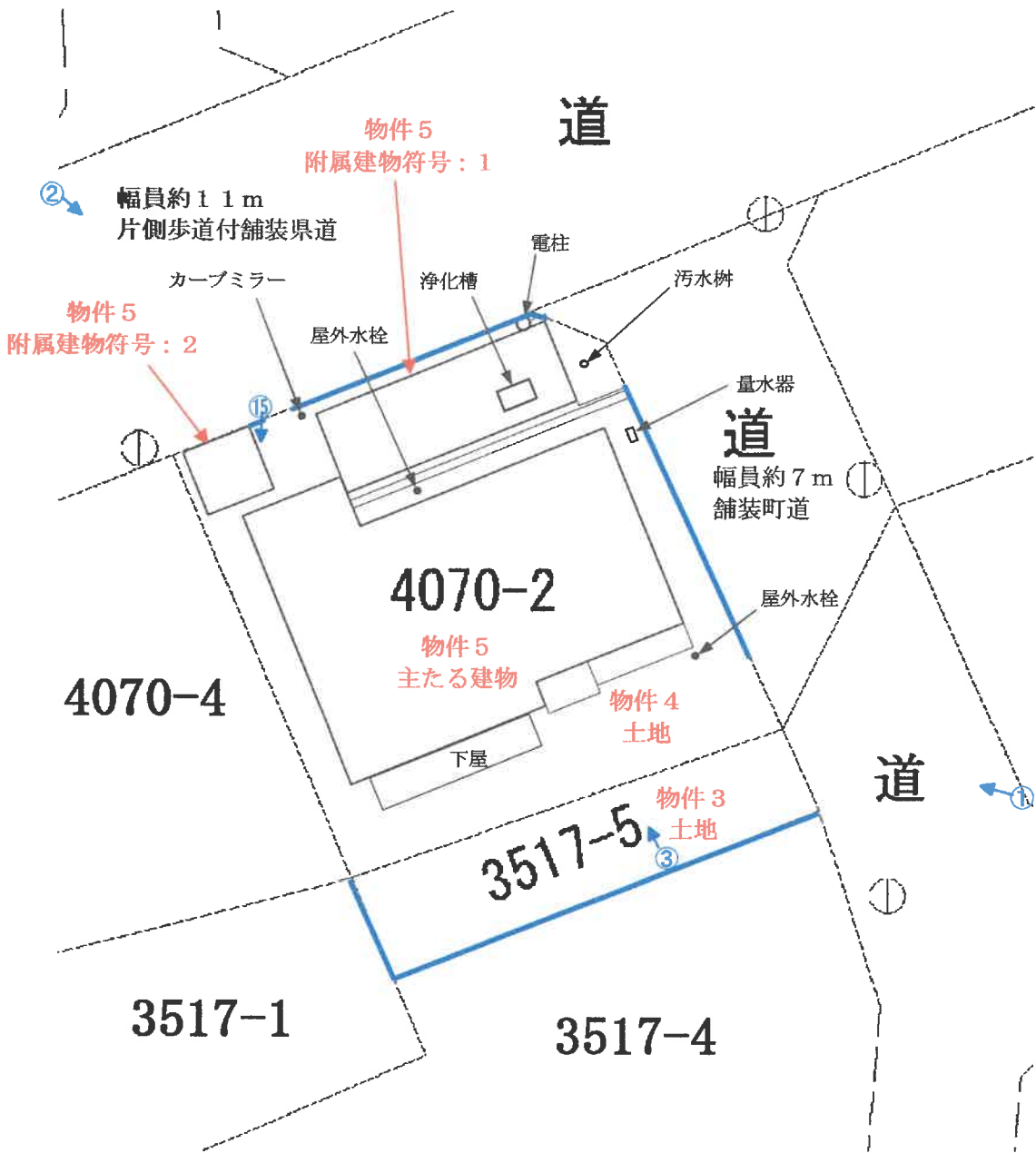
縮尺：1/500

法第 1 4 条地図写

宮崎地方法務局 都城支局

凡例

— ブロック等



縮尺：1/250

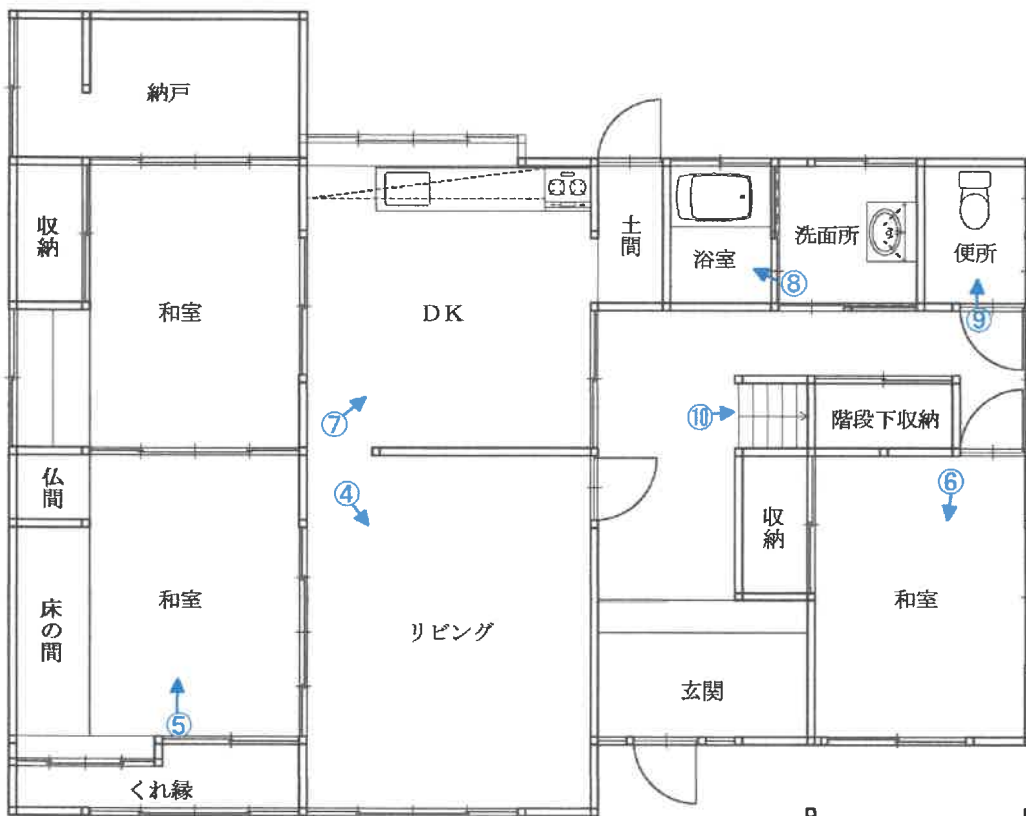
写真撮影位置・方向○→

土地建物位置関係図

※本図は、土地・建物等の位置を概略的に示したものであり、境界等を確定するものではない。



2階



1階

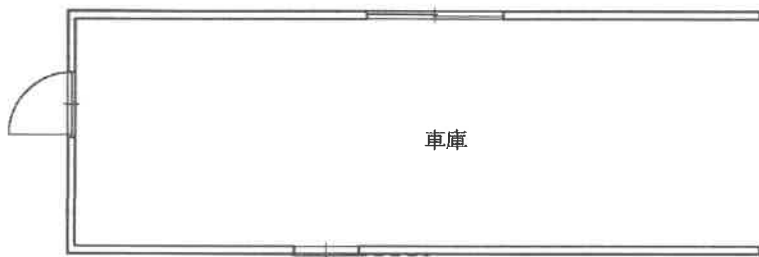
物件5  
主たる建物



縮尺：1/100

写真撮影位置・方向○→

間取図



物件 5  
附属建物符号：1



物件 5  
附属建物符号：2



縮尺：1/100

写真撮影位置・方向○→

間取図

写真①

目的建物物件 5  
主たる建物



写真②

目的建物物件 5  
主たる建物

目的建物物件 5  
附属建物符号 1



目的建物物件 5 附属建物符号 2

写真③

※ 写真③～⑬  
目的建物物件5の  
主たる建物関係



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬

※ 押し入れの天井の状況



写真⑭

目的建物物件5の  
附属建物符号1



歪んだドア枠

写真⑮



※ 写真⑮, ⑯  
目的建物物件5の附属建物符号2関係

写真⑯

※ 附属建物符号2の  
内部の状況



令和 7年(ケ)第 88号②  
令和 8年 2月 5日現地調査  
令和 8年 2月24日評 価  
現況調査担当 長友 善彦 執行官

宮崎地方裁判所 御中

# 評 価 書

評 価 人 不動産鑑定士  
黒 木 勇 人

## 第1 評価額

一 括 価 格	
	金 1,254,000 円
内 訳 価 格	
物件3 (土地)	金 159,000 円
物件4 (土地)	金 719,000 円
物件5 (建物)	金 376,000 円

### 【付記事項】

- 1 一括価格は、物件3～5の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件3・4の内訳価格は物件5のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件5の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

## 第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。  
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。



## 第4 目的物件の位置・環境等

### 1 土地の概況及び利用状況等（物件3・4）

位置・交通	J R日豊本線「三股」駅の東方・道路距離約1 km 三股町コミュニティバス「山王原」停留所の北東方・道路距離約90 m (附属資料「位置図」参照)			
付近の状況	戸建住宅を中心に、一部、店舗・事務所兼住宅等が介在する地域			
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別적인規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分	非線引き都市計画区域		
	用途地域	第1種住居地域		
	建ぺい率	60%		
	容積率	200%		
	防火規制	-		
	その他の規制	-		
画地条件	地積	325.21㎡		
	間口・奥行	約16m・約20.5m		
	形状	ほぼ長方形		
	境界等	国土調査済みで、法第14条地図上では確認できる。 現地にて、周辺隣接地との境界点付近には境界標が存するほか、ブロック積、道路等及び利用状況の相違で区分されており、概ね明確であるが、物件相互間の境界は不明確である。		
	その他	全体として地勢は概ね平坦である。		
接面道路の状況	北西側で幅員約11m片側歩道付舗装県道に概ね等高、北東側で幅員約7m舗装町道に概ね等高に接面する角地			
土地の利用状況等	物件5建物（居宅等）の敷地として利用されている。 その他の詳細については「現況調査報告書」記載のとおり			
供給処理施設		前面道路の敷設	目的物件への接続	備考
	上水道	あり	あり	
	下水道	あり	あり	※特記事項参照
	都市ガス	なし	なし	
災害等の危険性	津波ハザード	なし	国土交通省 重ねるハザードマップ（評価時点）	
	洪水ハザード	なし		
	高潮ハザード	なし		
	土砂災害警戒区域等	なし	宮崎県土砂災害警戒区域等マップ（評価時点）	
	その他	なし		
埋蔵文化財の有無及びその状態	三股町教育課への聴取による限り、周知の埋蔵文化財包蔵地に該当しない。			
土壌汚染の有無及びその状態	過年度の住宅地図・登記簿による地歴調査及び目視可能な範囲での調査による限り、土壌汚染の可能性を疑わせる端緒は確認できなかった。			

(前頁より続く)

特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 三股町都市整備課への聴取によれば、北西側で接面する県道は都市計画道路（名称：都城坂元線、計画幅員：11m）に該当するが、事業完了済みとのことである。</li><li>・ 下水道について、三股町環境水道課への聴取によれば、公共汚水柵は設置済だが、未使用（未接続）で、現況は浄化槽を使用しており、受益者負担金については接続時に支払うこととなるため、未納の状態であるとのことである。なお、詳細については同課に再確認すること。</li><li>・ 物件4の敷地内北端付近に電柱（NTT所有）、北西端寄り付近にはカーブミラーがある。</li><li>・ その他の事項は「現況調査報告書」記載のとおり。</li></ul>
---------	---

## 2 建物の概況及び利用状況（物件5）

区 分	主たる建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）：昭和50年8月1日新築 経過年数：約50年 経済的残存耐用年数：0年（経済的耐用年数超過）
仕 様	構 造 木造
	屋 根 瓦葺
	外 壁 サイディングほか
	内 壁 クロス貼、板貼、化粧ボードほか
	天 井 クロス貼、板貼、化粧ボードほか
	床 フローリング、畳ほか
	設 備 電気設備、給排水・衛生設備
床面積（現況）	延165.99㎡ 登記記載のとおり
現況用途等	現況用途：居宅 間取り：6LDK+S
品 等	普通
保守管理の状態	経年相応の物理的な損傷・摩滅等に加え、以下のような状況が認められる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・階段の内壁仕上げに浮きが見られるほか、2階収納の一部天井には破損等が見られる。</li> <li>・クロス等の剥がれや浮きが見られるほか、床のたわみや軋みを感じられる箇所が多数ある。</li> <li>・近隣住民への聴取による限り、野良猫が数匹出入りする様子が見られるとのことである。また、ここ最近は未利用の状況が続き、ゴミ等も多数残置されたままであるため、建物内部全般で汚損・劣化が認められるほか、異臭も感じられる。</li> </ul> 以上より、保守管理の状態は劣る。
建物の利用状況	占有状況は「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。</li> <li>・その他の事項は「現況調査報告書」記載のとおり。</li> </ul>

(前頁より続く)

区 分	附属建物 符号：1	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載)：昭和54年7月30日新築 経過年数：約47年 経済的残存耐用年数：0年(経済的耐用年数超過)	
仕 様	構 造	コンクリートブロック造
	屋 根	亜鉛メッキ鋼板ぶき
	外 壁	コンクリートブロック(モルタル掻き落とし)
	内 壁	あらわし
	天 井	あらわし
	床	コンクリート
	設 備	特記すべきものはない
床面積(現況)	27.90㎡ 登記記載のとおり	
現況用途等	現況用途：車庫 間取り：附属資料「間取図」のとおり	
品 等	劣る	
保守管理の状態	経年による物理的な損傷・摩滅等のほか、鋼製部に錆が見られる。 なお、保守管理の状態は劣る。	
建物の利用状況	占有状況は「現況調査報告書」記載のとおり。	
特記事項	・対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 ・その他の事項は「現況調査報告書」記載のとおり。	

(前頁より続く)

区分	附属建物 符号：2	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載)：昭和54年7月30日新築 経過年数：約47年 経済的残存耐用年数：0年(経済的耐用年数超過)	
仕様	構造	コンクリートブロック造
	屋根	陸屋根
	外壁	コンクリートブロック
	内壁	あらわし
	天井	あらわし
	床	コンクリート
	設備	電気設備
床面積(現況)	6.24㎡ 登記記載のとおり	
現況用途等	現況用途：物置 間取り：附属資料「間取図」のとおり	
品等	劣る	
保守管理の状態	経年による物理的な損傷・摩滅等のほか、出入口の扉の開閉不良が認められる。 なお、保守管理の状態は劣る。	
建物の利用状況	占有状況は「現況調査報告書」記載のとおり。	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。</li> <li>その他の事項は「現況調査報告書」記載のとおり。</li> </ul>	

## 第5 評価額算出の過程

### 1 基礎となる価格

#### (1) 建付地価格 (物件3・4)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付 減価 エ	持分割合 オ	建 付 地 価 格(円) ア×イ×ウ×エ×オ
3	15,600	1.03	58.72	1.00	1.00	944,000
4	15,600	1.03	266.49	1.00	1.00	4,282,000

ア 標準画地価格 (公示価格等からの規準)

地価調査 基準地 三股(県)ー1

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格  
 $13,600\text{円}/\text{㎡} \times 100/100 \times 100/100 \times 100/87 \div 15,600\text{円}/\text{㎡}$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：補正なし

◇地域格差：街路-8%、環境-5% 相乗積0.87

イ 個別格差：角地+3% 相乗積1.03

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

オ 持分割合：登記記載のとおり。

#### (2) 建物価格 (物件5)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率 ウ	建 物 価 格 (円) ア×イ×ウ
主たる 建物	170,000	165.99	0.00	0
附属建物 符合：1	70,000	27.90	0.00	0
附属建物 符合：2	80,000	6.24	0.00	0
物件5合計				0

ウ 現価率

物件5（主たる建物）

- ・残価率5%の定額法（ただし、経済的残存耐用年数0以降（経過25年以降）は1年経過毎に残価が1%ずつ減少するものとする）と観察減価法を併用して、0.00と査定した。

物件5（附属建物符号：1）

- ・残価率5%の定額法（ただし、経済的残存耐用年数0以降（経過30年以降）は1年経過毎に残価が1%ずつ減少するものとする）と観察減価法を併用して、0.00と査定した。

物件5（附属建物符号：2）

- ・残価率5%の定額法（ただし、経済的残存耐用年数0以降（経過30年以降）は1年経過毎に残価が1%ずつ減少するものとする）と観察減価法を併用して、0.00と査定した。

## 2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

### (1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ	及ぶ範囲 ウ	土地利用権等価格(円) ア×イ×ウ
3	944,000	0.30	法定地上権	283,000
4	4,282,000	0.30	法定地上権	1,285,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を30%と査定した。

### (2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる 価格(円) ア	土地利用権等 価格の控除 及び加算(円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	評価額(円) (ア±イ)×ウ ×エ×オ
3	944,000	-283,000		0.40	0.60	159,000
4	4,282,000	-1,285,000		0.40	0.60	719,000
5	0	+1,568,000	1.00	0.40	0.60	376,000
一括価格(合計)						1,254,000

ウ 占有減価修正：占有状況より必要なしと判断した。

エ 市場性修正：以下の理由により、市場性が劣る（需要者が相当に限定される）と判断した。

- ①建物について、経済的耐用年数超過後、さらに相応の期間が経過し老朽化等が進んでいる。
- ②未利用期間の経過やゴミ等の多数残置により汚損・劣化等も多く見られ、野良猫の出入りが見られ、異臭も感じられること。
- ③内壁・天井等の仕上げに剥がれや浮き・破損等が見られ、保守管理の状態も劣ること。

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

## 第6 参考価格資料

### 1 標準画地価格の査定

基準地価格（三股町(県)－1）

所 在：北諸県郡三股町大字樺山字松原4038番1

価 格：13,600円/㎡

位 置：JR日豊本線「三股」駅約1,100m

価 格 時 点：令和7年7月1日

地 積：541㎡

供給処理施設：水道・下水

接 面 街 路：北側幅員約4.0m舗装町道に接面

用途指定等：第1種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）

地域の概要：一般住宅を主に空地も多い古くからの住宅地域

### 2 固定資産税価格（令和7年度 公課証明による）

物件3 845,098円

物件4 3,835,324円

物件5（主たる建物） 2,214,766円

物件5（附属建物符号：1） 177,703円

物件5（附属建物符号：2） 31,423円

## 第7 附属資料

1 位置図

2 法第14条地図写

3 地積測量図写（縮小）

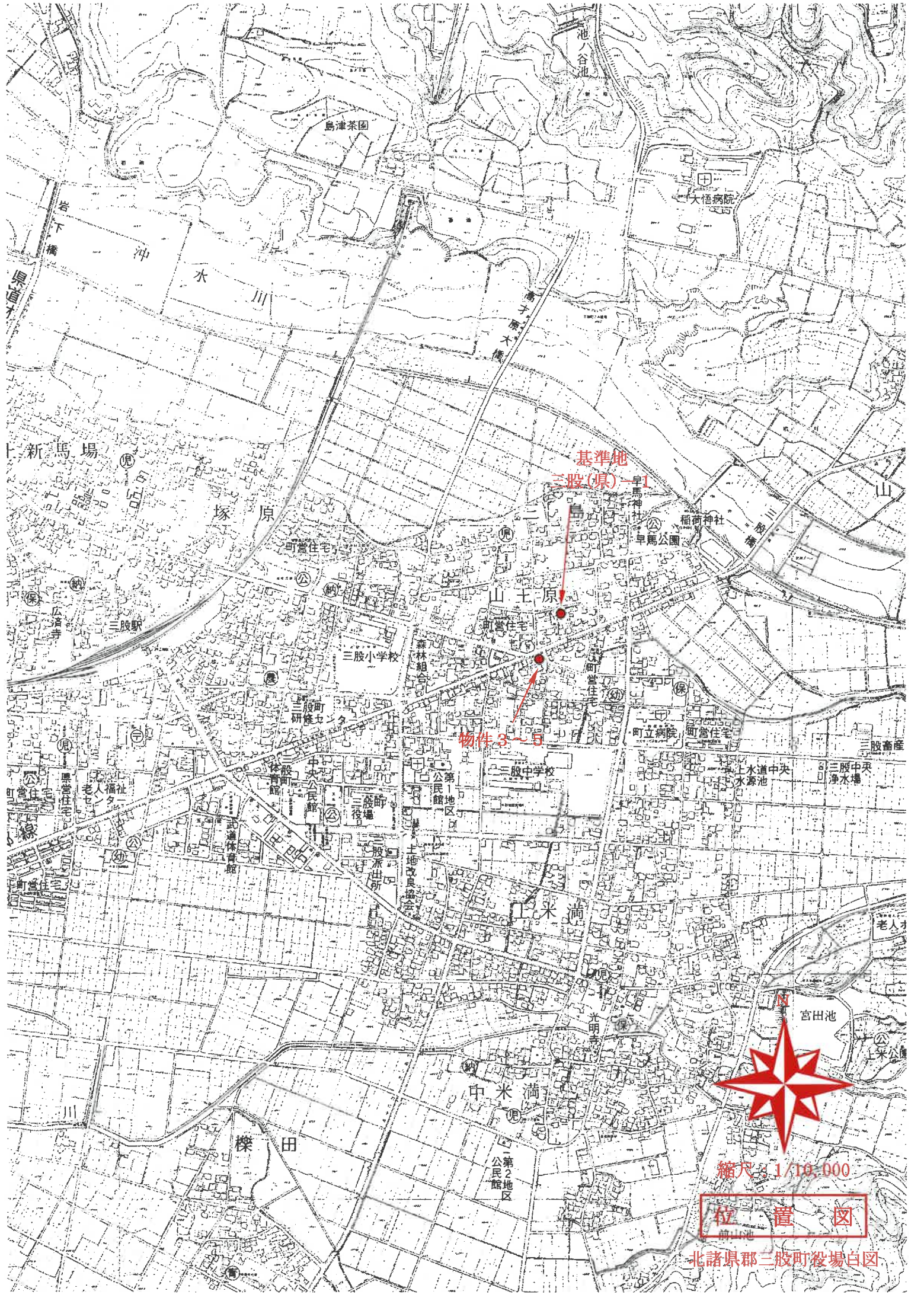
4 建物図面・各階平面図写（縮小）

5 土地建物位置関係図

6 間取図

7 現況写真

以 上



基準地  
三股(県)一車1

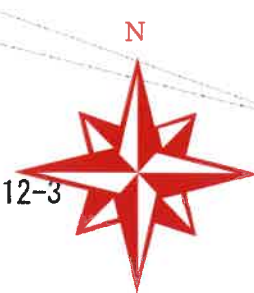
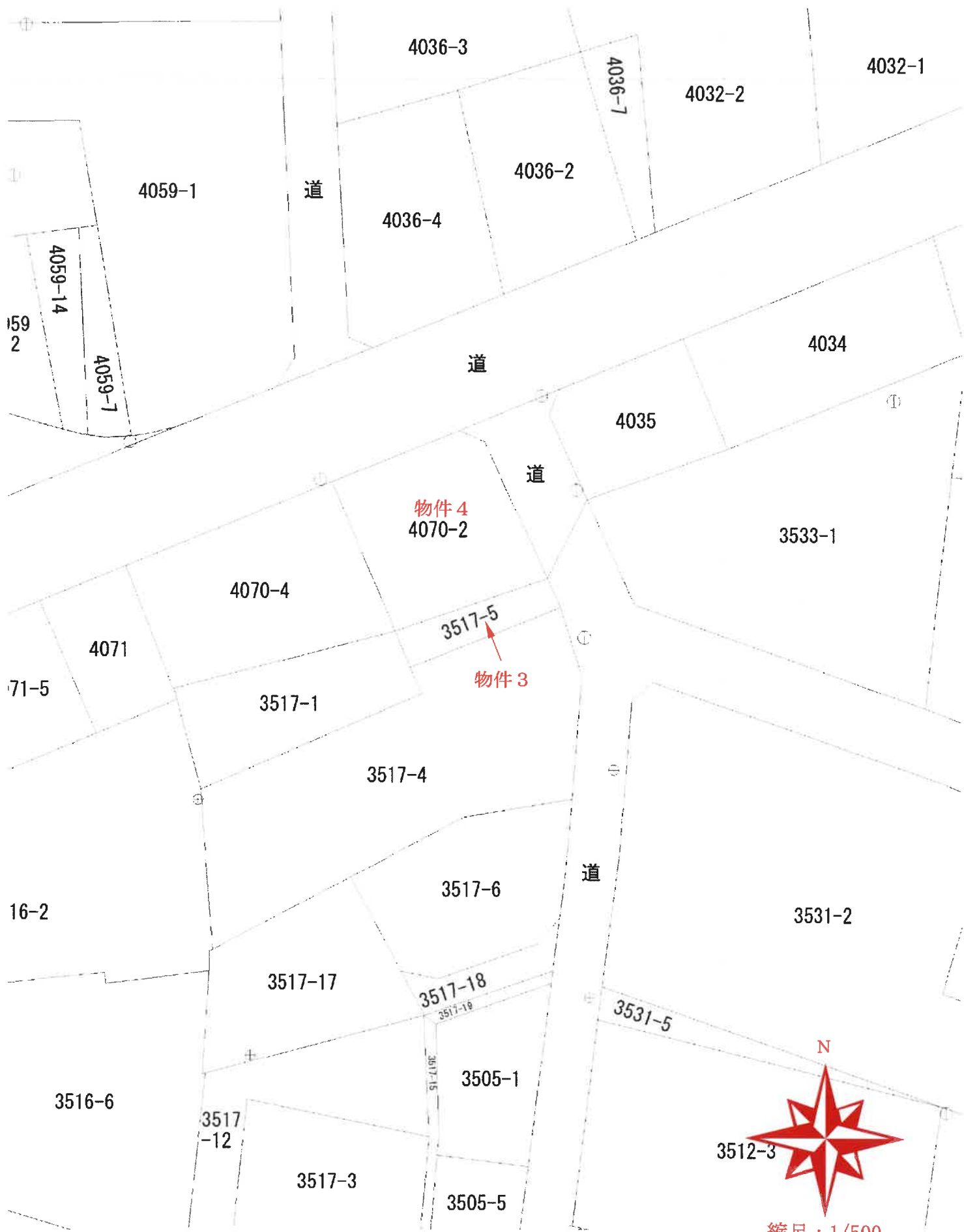
物件 3-5



縮尺 3.1/10,000

位置図

北諸県郡三股町殺場白図



縮尺：1/500

法第14条地図写

宮崎地方法務局 都城支局

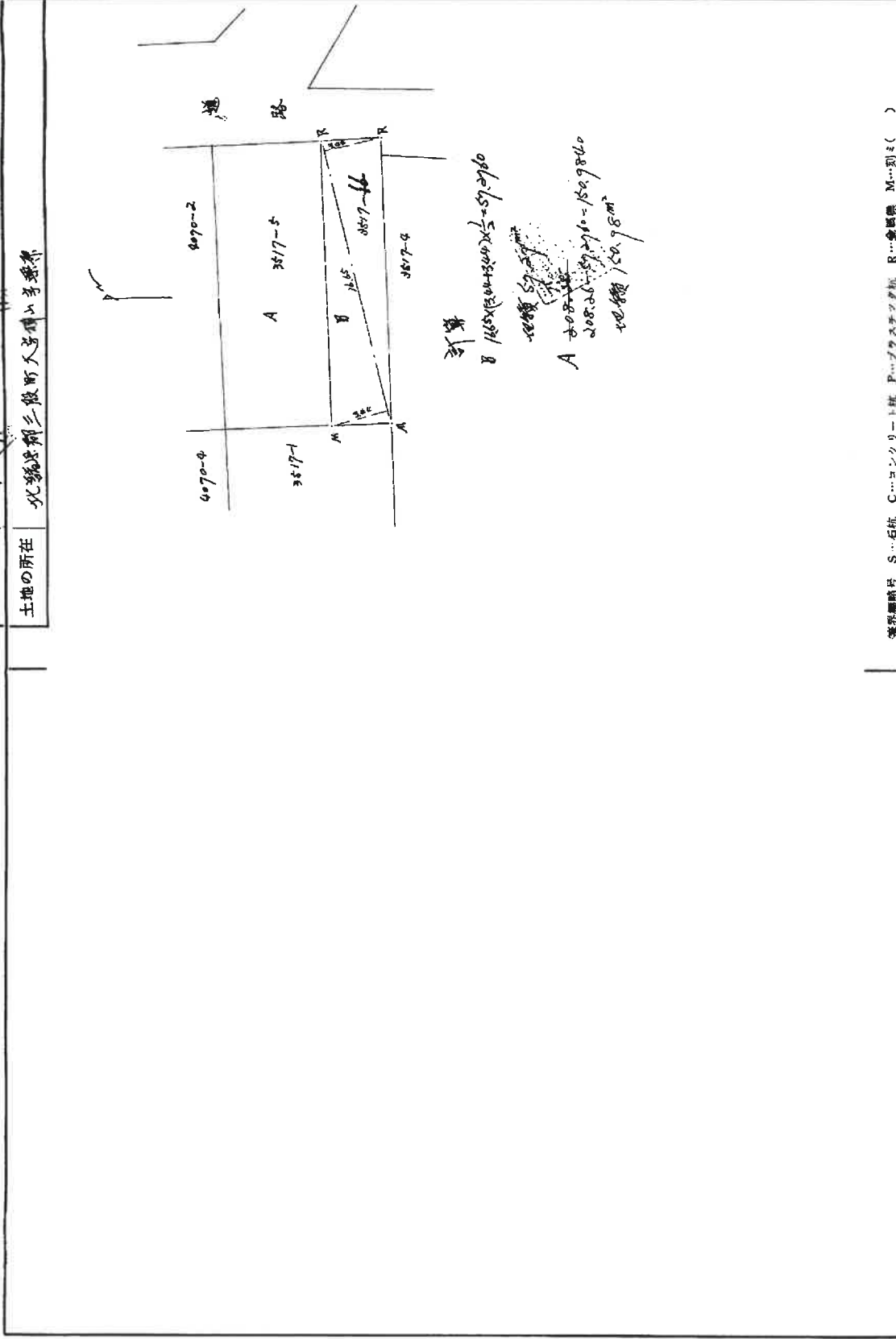
平成54年3月14日登記

前35125後

地積測量図

地番 3517-1-5

土地の所在 父孫孫三郎町大字町山手番地



測量番号 S...石航 C...コンクリート航 P...ガラスブロック航 R...金網航 M...別子( )

製作者	申請人	縮尺
(宮崎県土地家屋調査士会会員用紙)		1/50

(昭和54年3月14日作製)

424140

地積測量図写

宮崎地方法務局 都城支局 (原図をA4に縮小)

(1) 平成24年9月14日  
本図面は国土調査実施前提出図面である。

地積測量図写

宮崎地方法務局 都城支局

(原図をA4に縮小)

(注) 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

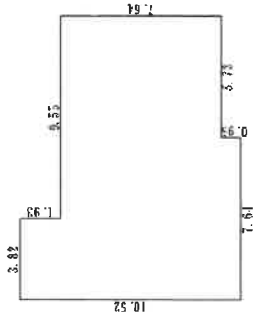
登記年月日：平成29年2月31日

各階平面図 建物図面

家屋番号 4070番2の1

建物の所在 北諸県郡三股町大字榊山字松原4070番地2

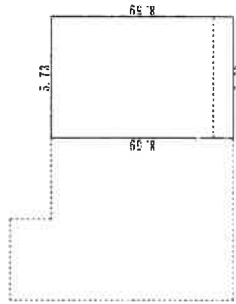
主である建物  
1階



求積表

$5.730 \times 7.640$	=	43.777200
$3.820 \times 8.590$	=	32.813800
$3.820 \times 10.520$	=	40.186400
合計床面積		116.777400

2階



求積表

$5.730 \times 8.590$	=	49.220700
合計床面積		49.220700

附属建物符号1



求積表

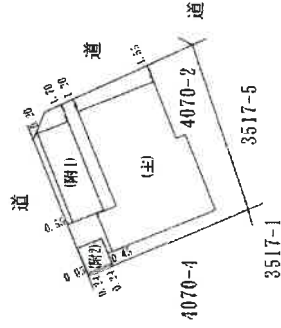
$9.000 \times 3.100$	=	27.900000
合計床面積		27.900000

附属建物符号2



求積表

$2.550 \times 2.450$	=	6.247500
合計床面積		6.247500



[平成 29 年 1 月 28 日作製]

単位：m

作成者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

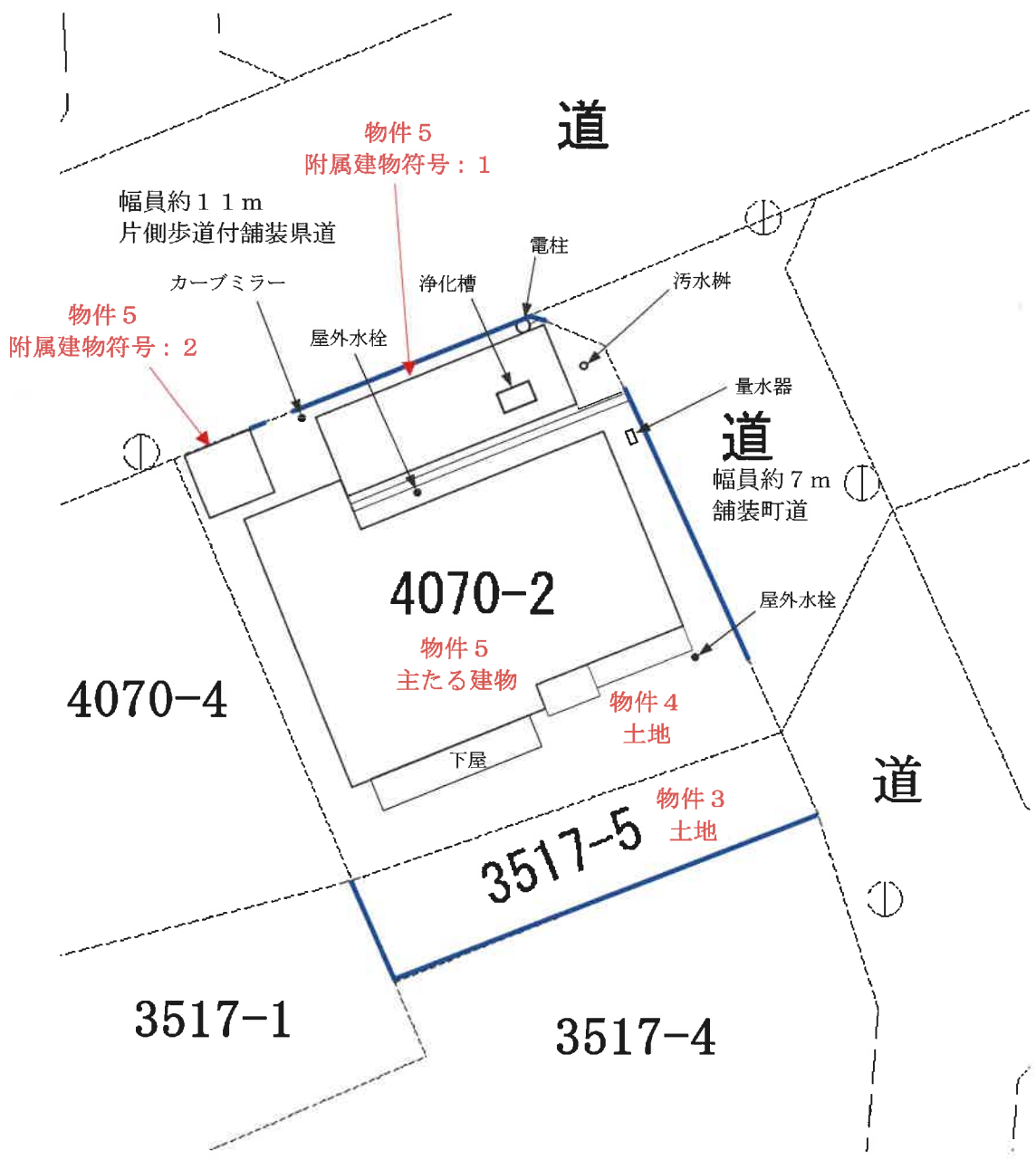
建物図面・各階平面図写

宮崎地方法務局 都城支局

(原図をA4に縮小)

凡例

— …ブロック等



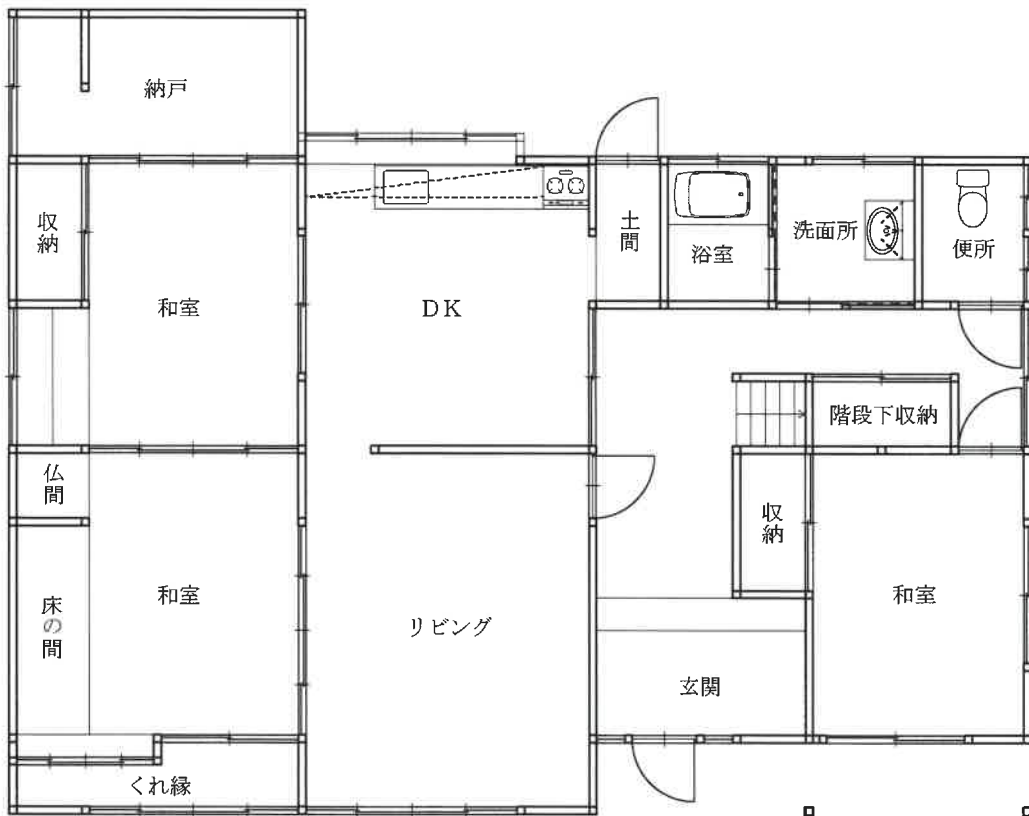
縮尺：1/250

土地建物位置関係図

※本図は、土地・建物等の位置を概略的に示したものであり、境界等を確定するものではない。



2階



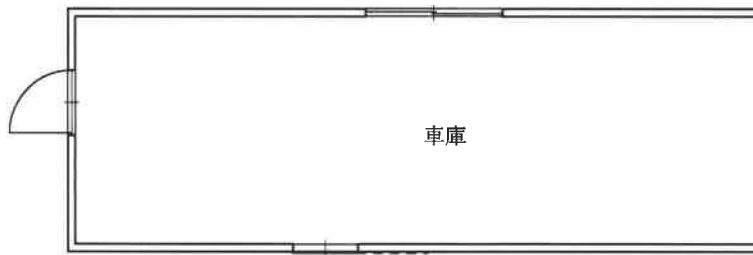
1階

物件5  
主たる建物

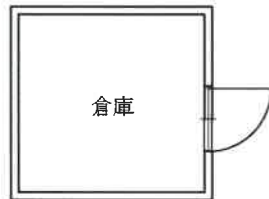


縮尺：1/100

間取図



物件 5  
附属建物符号：1



物件 5  
附属建物符号：2



縮尺：1/100

間取図



北東方より撮影（物件5）



北西方より撮影（物件5）